



消防大学校だより

NBCコースにおける教育訓練 ～人間愛～

消防大学校では、緊急消防援助隊教育科NBCコース第10回を、約2週間の日程で実施しました。

(開校期間：令和3年2月2日から2月24日まで)

今年開催される予定の「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」や「2025年大阪万博」など国際的イベント開催に向けて、NBC災害対応隊員に対し初動活動要領、部隊運用要領、現場指揮要領等の災害現場全体の管理能力を修得することを目的として実施しました。

また、平成28年度「消防機関におけるNBC等大規模テロ災害時における対応能力の高度化に関する検討会」で示された各種マニュアルを実科訓練に落とし込み、爆弾テロを含む大規模テロ災害発生時における各部隊に求められる活動能力の向上に主眼を置き、より実戦に即した訓練を企画しました。

授業計画については、教育期間の序盤に概論、総論を中心とした講義や資機材取扱い訓練を行い、中盤には各分野の専門的な講義、資機材取扱いの習熟期間とし、後半に向けて実動訓練、総合訓練を実施するように構成しました。

また、総合訓練では、N災害対応、C災害対応及び爆弾テロ災害対応と分類別に実施し、より実践的に活動の終息までをイメージして取り組みました。

研修を終えた学生からは、「NBCの座学、資機材の取り扱い、多数傷病者対応、NBC総合訓練と順を追ったカリキュラムであり、非常に教育効果が高かったと感じます。」「他都市のNBC 災害対応について多くの意見交換ができ大変有意義だった。また、講義内容も専門的な内容が多く、多くの知識を得ることができ、充実した研修を受講することができました。」等の意見が寄せられました。

コロナ過という学生生活においては、教育訓練及び寮

生活を通じて、「限られた空間」「限られた予算」「決められたルール」の中で「いかに楽しみを見つけるか」を学生自らが気づき、考え、行動した結果、学生同士の深いコミュニケーションが図られました。

今後は、消防大学校で修得した幅広い知識・技術・結束力を、それぞれの管轄区域でフィードバックし、更には大規模災害発生の際は、緊急消防援助隊の出動要請に対し、大いなる活躍が期待されます。

また、見返りを求めない無償の愛「人間愛」で多くの被災者の力になってくれると確信しています。



実動訓練①



実動訓練②



消防大学校だより

教育訓練の実施状況 (令和2年12月～令和3年3月実施分)

令和2年12月から令和3年3月実施分の教育訓練及び卒業（修了）生は、次のとおりです。

学科・コース名		教育訓練期間	卒業(修了)者数
幹部科	第64期	1月7日(木)～2月25日(木) (50日間)	54名
上級幹部科	第84期	1月12日(火)～1月28日(木) (17日間)	35名
予防科	第109期	1月6日(水)～2月26日(金) (52日間)	40名
新任教官科	第14期	3月2日(火)～3月12日(金) (11日間)	74名
現任教官科	第4期	3月1日(月)～3月12日(金) (12日間)	28名
高度救助・特別高度救助コース	第10回	3月1日(月)～3月12日(金) (12日間)	53名
NBCコース	第10回	2月2日(火)～2月24日(水) (23日間)	54名
航空隊長コース	第20回	11月30日(月)～12月11日(金) (12日間)	74名
消防団活性化コース	第8回	1月18日(月)～1月22日(金) (5日間)	21名
女性活躍推進コース	第5回	12月15日(火)～12月23日(水) (9日間)	44名
査察業務マネジメントコース	第4回	12月7日(月)～12月11日(金) (5日間)	39名
合 計			516名

問合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712